

編 集 後 記

- ☆ 本号は、研究ノート・書誌・資料紹介をもって編集した。
- ☆ 研究ノート中の二篇は、韓国の近代図書館史と中国の官庁文書類とで、本誌としては、あらたなる論題にて、範囲をひろげることができた。
- ☆ 研究ノート三篇中のあと一篇は、第一回個人文庫展中の調査を発展させたもので、梅園人物考は新見にみちた内容である。執筆者の中田氏は東洋史学者で、かつては参考書誌部長を勤め、本年三月退職後は、岡山の就実女子大の教授として活躍しておられる。
- ☆ 書誌中の鮫島文庫目録は第一回個人文庫展に関連し、前号の島山旧蔵目録に続き、元佶手沢本目録は第二回個人文庫展に関連する調査である。
- ☆ 資料紹介の西村茂樹碑文も、個人文庫展を機とした調査研究熱の一つである。
- ☆ フィリピン大学の探訪記は、研究ノートの中国、韓国関係とともに、アジアの図書館へのわれわれの熱意を見せ、本号は展覧会、アジアの図書館関係でまとめられたとも言えよう。
- ☆ 30号を記念して、当館の展示会目録年表、また本誌の総目次を加えた。
- ☆ 本誌も、昭和45年創刊以来ようやく30号に達しましたが、これまでのご協力を謝し、今後とも、ご支援と忌憚のないご批評を引き続きお願いいたします。(朝倉)

☆ 編集委員

竹内 壽	山口美代子 (法律政治課)
馬場 萬夫 (一般参考課)	松谷 陸男 (経済社会課)
宇津 純 (同)	池本 幸雄 (科学技術課)
朝倉 治彦 (人 文 課)	吉久 明宏 (アジア・アフリカ課)
沢西 良子 (同)	吉田 孝子 (索 引 課)

参考書誌研究 第30号 昭和60年9月25日発行

編 集 国立国会図書館参考書誌部
発 行 国立国会図書館
東京都千代田区永田町1の10の1 (〒100)
電 話 581-2331 (代)
印 刷 株式会社 第一印刷所

本誌に掲載された記事を全文または長文にわたり抜すいで転載されるばあいには、事前に参考書誌部一般参考課へ連絡してください。